



報道で紹介された美瑛高校 18

◆令和5年 12月 19日(R6. 1. 27 びえい新聞)

びえい新聞にも取材をしていただきました。たくさんの方々の協力があったの成果です。「感謝」の気持ちを忘れずに頑張っていきましょう！！

快挙！上川地区の代表として全道成果発表会に選出
美瑛高校「探求チャレンジ・ジャパン」出場！



高校生目線で美瑛町の魅力をユーチューブで発信。北海道教育委員会が主催するS-T-E-A-M教育推進事業「探求チャレンジ上川」で、美瑛高校のユーチューブプロジェクトが優秀賞を受賞。最優秀賞の旭川北高校と共に上川管内の代表として「探求チャレンジ・ジャパン」(全道成果発表会)に選出された。探求チャレンジ上川は、上川管内の全道立高校(全日制)20校が参加。総合的な探求の時間や課題研究など、各学校の教育課程内で取り組んだ研究活動の成果を学生たちが発表する。発表は昨年12月19日にZoomを使ったオンラインで実施。所定時間は7分で、1校につき1発表とし、参加人数は原則5人以内とされている。

発表を任されたのは、積極的に動画をアップしていたリーダーの杉山劉真さん、副リーダーの堅田終斗さん、矢吹亮太さん、生田目裕人さん、太田瑛仁さんの5人のチーム「Bicycle & Nature」。自転車好きの仲間、青い池やセブンスターの木、北西の丘など町内の観光地を自転車で巡る様子を配信している。「環境にやさしいエコロジーな自転車の魅力と美瑛の自然の良さを伝えながら、オーバートリウムや農地立ち入りなどの美瑛が抱える課題へのメッセージも盛り込めればと思っています」とのこと、審査では「地域を学んだ成果から課題を設

美瑛高校では、総合的な探求の時間で外部講師として協力している町内在住の写真家の中西敏貴氏が、ユーチューブでの発信を生徒達に提案。これをもとに「美瑛高ユーチューブプロジェクト」として、2学年の生徒たちがそれぞれ班を作成し動画などを撮影。自分たちの目線で町の魅力を発信している。探求チャレンジ上川では、この内容を発表。優秀賞を獲得し上川管内代表に選ばれた。

の写真を撮影。動画の時間制限があるため、これを数枚に編集し、文字や音楽などを入れて編集しアップする。堅田さんは旭川の自宅から自転車で登校するほどの自転車好き。同じく自転車好きの杉山リーダーと共に、主に自転車での撮影を担当する。「美瑛は本当に自転車で回るのが楽しい。またドローンでの撮影など、町役場の方にもぜひ協力してもらい感謝している」とのこと。

とで、動画にあふれる自転車愛も好感が持たれた。各地域の代表による「探求チャレンジ・ジャパン」は2月1日に札幌市で開会。5人のメンバーも会場入りする。上川地区代表として、美瑛高校の生徒たちの活動が選出されたのは喜ばしいこと。これからの活躍にも期待したい。なお美瑛高校の「ユーチューブプロジェクト」の動画は、同高校のホームページからも視聴できる。